

## 流行性耳下腺炎ワクチン予防接種費用一部助成のご案内

このお知らせは、流行性耳下腺炎ワクチン予防接種費用一部公費助成制度のお知らせです。予防接種の内容を十分理解いただいた上で、ご本人あるいは保護者の希望によって行われる任意接種です。予防接種法に基づく定期接種とは異なります。予防接種の効果、重篤な副反応、健康被害救済制度、その他予防接種に関する注意事項などについて、よく理解した上で接種をしてください。



対象者	智頭町に在住する、町税等の滞納がない次に該当する者 ○流行性耳下腺炎にかかったことのない1歳以上中学3年生までの者 ○これまで1度も流行性耳下腺炎の予防接種を受けたことがなく、助成も受けたことがない者 ※助成回数は1回のみです。
手続き方法	①保健センターに助成券の交付申請の手続きをしてください。 ※ <u>印鑑が必要です</u> ②助成券をその場で受け取ります。 ③町内の医療機関に接種日の予約をします。※ <u>予約が必要です</u> ④健康状態のよいときに町内の医療機関で接種しましょう。
持参するもの	保健センター ⇨ 印鑑、母子健康手帳 町内の医療機関 ⇨ 助成券、母子健康手帳
助成金額	1回の接種にあたり流行性耳下腺炎ワクチン3,000円を助成させていただきます。 ※ <u>助成券の使える医療機関は町内の医療機関に限りますのでご注意ください。</u>
負担額	医療機関の設定金額から助成金額を差し引いた額をお支払いください。

※接種後に他の種類の生ワクチン予防接種を受ける際は27日間以上の間隔をあけてください。

【お問い合わせ先】智頭町 保健センター 福祉課 TEL(75)4101

## 1 ワクチンの接種効果等

- ① 感染防止効果: 流行性耳下腺炎ワクチンの接種をした人の約90%に、その後の感染を防ぐ効果があります。
- ② 重症化防止効果: 接種後感染したとしても、発病した際に軽症ですむ効果があります。
- ③ 自然に感染し発病した際の合併症にかかる可能性を低くします。
- ④ 通常発病した際、長期休暇が必要となりますが、ワクチンを接種することでその際の負担を軽減します。

また、接種後に他の種類の生ワクチン予防接種を受ける際は27日間以上の間隔をあけてください。

## 2 ワクチン接種後の副反応

【流行性耳下腺炎】

### ①通常起こりうる副反応

通常数日以内に自然に治るので心配ありませんが、気分が悪くなったり腫れが目立つときは医師に相談しましょう。

・発疹、じんましん、掻痒及び局所の発赤、腫脹等 (国内臨床試験結果より)

②重大な副反応…非常にまれですが、起こる可能性があります。

・アナフィラキシー様症状…じんましんや呼吸困難、血管浮腫などがあらわれることがあります。

・無菌性髄膜炎

・急性散在性脳脊髄炎(ADEM)…発熱、頭痛、けいれん、運動障害、意識障害等があらわれることがあります。

・脳炎・脳症

・血小板減少性紫斑病…紫斑、鼻出血、口腔粘膜出血等の症状があらわれることがあります。

・難聴

・精巣炎…精巣腫脹等

※いずれのワクチンもたまたま予防接種を受けた時期と同じ時期に発症した他の感染症などが原因の症状(紛れ込み反応)が見られる場合もあります。接種後の体調を観察しましょう。

## 3 予防接種による健康被害救済制度について

任意予防接種によって健康被害が生じた場合(医療機関での治療が必要になったり、生活に支障がでるような障がいを残すなどの健康被害が生じた場合)には、定期予防接種とは異なり独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく補償と町が加入している予防接種事故賠償保険による補償を受けることになります。

予防接種法に基づく救済制度とは異なる点※をご理解ください。

※任意接種による健康被害が生じた場合は、救済給付を受けようとする人が、独立行政法人医薬品医療機器総合機構(医薬品機構)に直接請求することになっています。また、補償内容も異なります。

### 《流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の症状について》

#### 流行性耳下腺炎

**感染方法:** おたふくかぜ(ムンプス)ウイルスによる感染症で、飛沫感染、接触感染によって発症します。

**症状と潜伏期間:** 潜伏期間は2~3週間で唾液腺の腫れ(通常両側あるいは片側の耳下腺にみられることが多い)や圧痛、飲食物等を飲み込む時ののどの痛み、発熱を主症状として発症し、通常1~2週間で軽快します。

**合併症:** 無菌性髄膜炎があります。思春期以降では男性で睾丸炎(約20~30%)、女性では卵巣炎(7%)を合併すると言われています。また、20,000例に1例程度に難聴を合併するとも言われています。

## ● 予防接種を受けに行く前の注意事項

体調の良いときに予防接種を受けることが原則です。何か気にかかることがあれば、あらかじめかかりつけの医師等に御相談のうえで、接種するか否かを決めてください。

### (1) 接種を受けることができない人

- ① 明らかに発熱(通常37.5℃以上をいいます)のある人
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③ 受けるべき予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを起こしたことがある人  
「アナフィラキシー」とは、通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。汗がたくさん出るほか、はきけ、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状に続き、ショック状態になるようなはげしい全身反応のことです。
- ④ 明らかに免疫機能に異常のある疾患を有する人及び免疫抑制をきたす治療を受けている人
- ⑤ その他、医師が不適當な状態と判断した人

### (2) 予防接種を受けるに際し、医師とよく相談しなくてはならない人

以下に該当すると思われる人は、かかりつけの医師がいる場合には必ず前もって診ていただき、予防接種を受けてよいかどうかを判断してもらいましょう。受ける場合は、その医師のところで受けるか、あるいは診断書または意見書をもらってから予防接種に行きましょう。

- ① 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで治療を受けている人
- ② 過去の予防接種で、接種後2日以内に発熱のみられた人及び、発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた人
- ③ 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある人  
けいれん(ひきつけ)の起こった年齢、そのとき熱があったかなかったか、その後もけいれんが起きているか、受けるワクチンの種類は何かなどで条件が異なります。必ずかかりつけの医師と事前によく相談しましょう。
- ④ 過去に免疫不全の診断がされている人及び近親者に先天性免疫不全症の人がいる人
- ⑤ ワクチンにはその製造過程において卵の成分、抗生物質、安定剤などが入っているものもあるので、これらにアレルギーがあるといわれたことのある人

## ● 助成券利用可能医療機関

接種場所	電話番号	予約受付時間	接種時間
智頭病院	75-3212	月～金曜 午後 1:00～5:00 医事課まで	月、水、金曜 受付 午後 1:30～2:00